

「河川砂防技術研究開発」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
透水性基礎地盤を有する河川堤防の進行性破壊を考慮した総合的安全性点検のための評価手法と破壊抑制に関する技術研究開発（研究期間：H27年～H29年）	名古屋工業大学 前田 健一	A
<研究概要> 想定外力と河川堤防の特性を一体に考えた総合的視点の下で、堤防決壊の危険性の高い弱点箇所の把握と水防・対策の合理化等に資するために、(1)河川堤防の作用力モデルの高度化、(2)漏水と変状の進行のメカニズム及び決壊条件の解明、(3)複合的変状の進行を考慮した解析法と実用的点検・照査法の開発、(4)変形把握による堤防の構造の同定と危険度評価手法の提案、(5)堤防決壊抑制のための対策の評価・提案を行う。		
<事後評価コメント> 堤防決壊の危険性の高い弱点箇所の抽出にあたり、パイピングの模型実験や現地調査に基づいた力学的考察を通じて、実用的な堤防危険度の評価手順が示され、実務への適用性が高い研究成果となっており、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後は、実験結果を実スケールの堤防に活かすための相似則の検証などをさらに深めつつ、新たに得られた多くの知見を、適用範囲と制約条件を明示しつつ現場で適用できるようわかりやすく体系化し、実装に向けた道筋を明らかにしつつ実用的な対策の立案へつなげていく研究として進展させていくことが期待される。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとはいえない